

議 長 受付番号第3号、大館秀孝君の一般質問を許します。登壇願います。

11番 大 館 教育費の国庫補助金及びタブレット入札について問う

要旨 質問書のとおり

教 育 長 大館議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。まず、1点目の御質問ですが、さきの6月議会での一般会計補正予算（第1号）では、教育費において、松田中学校のトイレ改修工事の財源で国の補助金を受けられなかったことを受けて、歳入減額の補正をさせていただき、地方債の発行でその財源を確保させていただいたものでございます。既に採決をいただき、執行について進めているところであります。そのような状況の中で、再度の説明ということになります。6月議会でも説明をさせていただきましたように、この補助金は学校施設環境改善交付金として、校舎等の耐震補強工事や防災機能強化工事と老朽化によるトイレ改修や空調設備などの大規模改造事業に充てられるものであります。

最近の国の動向ですと、年度末に各自治体を実施する次年度の執行を前倒しさせ、国の当該年度で補正対応する傾向にございます。実際の工事は、予算の繰り越しをして次年度に執行するものですが、今回も同様の手法で国から前倒しの通知がありました。折しも、平成26年度が学校施設の耐震補強工事の補助申請ができる最終年度ということもあり、全国自治体より、想定以上の申請が行われたということで、平成26年度の補正が復興に係る耐震補強工事、防災機能強化工事にその財源が充てられ、今回全国的にも、松田町のように申請していたトイレ改修に係る補助採択が見送られたということが、平成27年4月末に連絡がございました。国に理由を確認したところ、この復興にかかる耐震化工事以外にも、全国的にトイレ改修や空調整備工事などの要望が多くあり、その財源確保ができないということでございました。つまり、国が前倒しをした27年度の前倒しで、その98%が執行されたということで、自治体の要望をかなえることができないということでございます。

そもそも、この学校施設環境改善交付金は、これまでも復興事業に対して優先されていたわけですが、先ほど説明したとおり、補助金申請の最終年度ということもあり、需要が増加したため、不採択となったということでもあります。

で、御理解をいただき、教育に力を入れている町の姿勢を尊重していただき、事務執行できるようお力添えをお願いしたいと存じます。

次に、2点目のタブレットの入札についての経緯でございます。本山町長の公約の一つにIT教育の推進があります。緑のIT教育として、幼・小…失礼しました、寄幼・小・中学校にタブレット端末を導入して、寄の自然環境の中から、松田の魅力を世界に発信していくというものでございます。

そこで、タブレット端末をどのように教育の中に入れていくかに当たっては、まず、各学校長へタブレット端末機器の導入について、教育上で使用することについての説明をさせていただき、年度ごとの導入計画を策定して、順次、機器の導入を目指すという方針を立てました。小・中学校へ一斉に導入するには、かかる経費も莫大な額になることから、平成26年度には松田小学校、寄小学校の1クラスに試験的に導入することで、その効果をはかることといたしました。その際に、各教員に手を挙げていただき、授業の中でタブレット端末を使ってみたいという教員を選定し、26年度では寄小学校の5年生、松田小学校の6年生の授業で活用していただくよう、関係機器の整備を行ったものでございます。

タブレットの授業を行うに当たっては、児童の使いやすさは当然ですが、教える側の教員が使い勝手のよいことが重要であり、ハード・ソフト両面から検討し、さらに教員の意見・要望を聞いた中で、寄小学校には教員分を含め14台のタブレットを導入し、松田小学校には36台を導入いたしました。その他機器として、プロジェクター、デジタルテレビ、また導入前には無線LAN工事を実施し、ICT教育の周辺環境整備も行ってまいりました。さらに、教員に関しては、初めて使用するタブレット端末でもあり、機器の操作を含め、授業力向上のサポートができる支援員を配置し、効果検証を行ってきたところでございます。また、その他の教員にも、タブレット操作になれていただくことを考え、教員向け研修会を実施してまいりました。小学校の教員だけでなく、中学校の教員も参加する研修会を行い、タブレット端末を使用する不安を払拭できるよう努めてきたところでもございます。

このような中で、平成26年度末には、各小学校において、それぞれ授業公開を行い、教育委員を初め、近隣の市町教育委員会からも指導主事が見え、松田

町の取り組みを発表させていただきました。その際に、児童・教員・保護者にアンケート調査を実施し、効果を検証してきました。教員アンケートの結果では、80%以上から、児童の関心や意欲を高めるのに効果的であり、知識や理解を深めるのに役立つという一定の効果があるという意見でしたが、その反面、授業でどういう場面のときに使用したらよいか難しい、ソフトが少なすぎる、使用するまでには時間がかかるなどの不安を訴える、唱える内容もございました。児童からは、90%以上で、タブレットを使用した授業は楽しいという回答がありましたが、電源が入らない、途中で止まってしまうなどの機器に対する不満もありました。保護者側からは、80%以上、タブレット授業の必要性や将来的に必要性があると答えている反面、情報モラルの教育が重要であるという意見もいただきました。神奈川県内では、松田町が先進的に行うことで、戸惑いや壁にぶつかることもあります。これらのよい点や悪い点を検証したところで、平成27年度には…。

- 11番 大 館 議長、私はそういうことを聞いているんじゃないので、そろそろ終わりにしてください。時間がなくなりますので。それで結構です。
- 議 長 教育長、今の答弁、そのまま続けてください。
- 教 育 長 平成27年度には、教員への苦手意識克服のための研修会の充実、タブレットを使った授業案の作成などを実施し、27年度末には研究発表を予定しているところでございます。また、タブレット端末機器の動作環境の改善、児童・生徒への情報モラル教育の指導とあわせて、セキュリティーポリシーの作成を順次進めてまいります。これまでタブレット端末機器の導入は、寄小学校5年生、6年生に教員分を含めて15台を導入し、松田小学校には5年生、6年生に139台を、そして松田中学校には64台を、寄中学校に13台を導入しております。また、無線LAN工事もあわせて行い、一斉にデータを送信しても途中でとまることもなく、正常に作動するような環境整備も行いました。なお、26年度で使用しているタブレット端末機器については、松田中学校・寄中学校教員にタブレットになれていただくことで使用をいただいている状況です。今後の教材研究等にですね、活用していただくことも考えております。

28年度以降の導入計画については、中学校1年生全員と2年生の一部に導入

し、29年度は中学校2年生まで、30年度で3年生までに導入する予定でございます。これにより、平成30年度で小学校5年生以上、中学校3年生までに1人1台のタブレット端末が整備できることとなります。以上でございます。

議 長 ただいまの答弁をいただきましたが、少し要旨と違いますので、詳しい説明を…再度、11番議員、質問をお願いします。

11番 大 館 懇切丁寧に御説明をいただきまして大変ありがとうございました。質問の趣旨とははるかにかけ離れた御丁寧な説明でしたので、私もいろいろ参考にさせていただきます。ありがとうございました。

それでは再質問をさせていただきます。私はですね、なぜこんな質問をするかという、私も思慮が浅かったためにですね、この一般会計、6月の議会です、一般会計の補正を賛成しました。ところが、なぜここで質問したかといいますとね、もう我々9月13日にはですね、改選に…あ、選挙があります。私が当選する確約とか担保はどこにもありませんので、あえてここで聞かなければ、チャンスを逃がしますのでね、議員の義務として、私は義務を果たしたいという思いで質問をさせていただいたんです。よろしく御理解をいただきたいと思います。

まずですね、6月の補正も含めて、細部説明も含めてですね、町長の行政報告の中でも国の復興事業に優先されているので、国庫補助がなくなったというような説明でしたけれども、今細かく説明を受けましたけれども、3月議会ですね、当初予算に国の国庫補助が計上されてですね、もう、すぐ6月でそれがなくなったというのはちょっと疑問に感じているんですよ。国庫補助は勝手に各自治体がね、じゃあ、こういうことをやりたいから国庫補助くださいよ、それですぐつくわけじゃありませんよね。いろいろヒアリングとか調整いろいろされて、よかろうというような話のもとに予算計上された、私はそう認識しているんですよ。ね。もう少しで20年間になろうとする議員生活の中でね、こんなこと初めてなんです。今までに国庫補助が取り消された例というのはどのくらいあるんですか。ましてや今ね、少子高齢化で、教育も含めてね、子育て環境について、国も神経を使ってですね、予算をつけていると思うんですよ。にもかかわらず復興に回すというのはね、復興は、財源は所得税の加算税とか

というのに含まれて、新聞報道、テレビ等で報道されていますけども、その復興財源がですね、とんでもないものに使われていたとか、そういう報道もされているわけですよ。だから、財源が足りなくなったからという、それはちょっとね、信用できない。ね。それは国の話ですから、町に言っているわけじゃありませんけれども。それでね、今でも復興財源が100%消化されてないんですよ。にもかかわらずね、教育費のこんな大事なものに、教育環境を整備する予算がね、補助金が削られるとはね、考えにくい。それで質問させていただいたんですよ。今までにこういう事例があったんですか。どのぐらいあったんですか。私の記憶ではこんなこと初めてです。

議 長 教育関係だけでよろしいですか。

11番 大 館 そうです。教育関係だけでいいです。

教 育 課 長 御質問にお答えいたします。私も教育課のほうに配属になってから国庫補助事業を行っている中で、その補助金が採択されなかったという事例は記憶にありません。また、このことを受けてですね、過去にそういった事例があるかどうかというところも、前任なり、過去担当されていた方々にお伺いしましたけれども、基本的に国庫補助申請の場合には県経由で、県の審査が入った中で国庫補助申請していますので、基本的に国庫補助を受ける場合には1年前から翌年度の計画を申請しておきませんと対象にならないというところもありますので、今回の申請についても、26年の5月から27年度の計画として国のほうに申請を上げている、そういったものでございます。そういったところで御質問の取り下げ…不採択になったという事例は、私は記憶ございません。

11番 大 館 ならね、何で今回こういうことになったのかという質問なんです。ましてや、県を通じて国に要望を出して、それが採択をされたから予算計上したんでしょう。承認されたから。何ていうのかな、申請を出したから、こういう教育環境の整備をしたいから補助金をつけてほしいよということで、申請…県を通じて申請して、それが一応認められたから予算計上したんでしょうね。27年度予算に、当初予算に。当初予算に、それでしかも3カ月もしないうちにね、採択されませんだって。そんなことないでしょう、普通はよ。どういうことなんですか、それは。

教 育 課 長 先ほど教育長から答弁させていただきましたように、最近の国の動向としては、国の、要は地方が行う事業を前倒しさせて、国の当該年度の補正で対応するという、そういう補助申請の仕方をされています。今回も同じような形でですね、国は平成26年度の復興特別財源を充ててその地方のですね、要は災害、防災強化事業ですとか、耐震補強工事事業ですとか、そういったものに、当然そこに大規模改造事業ということでトイレ改修や空調設備工事なども入ってくるわけ…メニューとしては入ってくるんですけども、その復興財源をもとにした平成26年度の国の補正予算の中では、基本的に今言った耐震補強工事や防災機能強化、そういったものに優先されてその財源が使われたということなので、その時点で松田町の、国に申請していましたが、松田町の、国がやる平成26年度の補正には該当しなかった。ただ、国は当然27年度も同じような予算を持っていますので、それを教育委員会としては当てにしていたといえますか、それを財源が当たるだろうという想定の中で予算は組ませていただいていた。それは先ほど申しましたように、前年の5月から27年度の計画を申請しておきませんと、まず申請をしておきませんとそこに補助が当たらないという、そういう性格の、補助申請上の手続上の問題です。ですので、いきなりこういう工事がありますといっても、国はそこでは認めはしていただけない。最終的にですね、年を明けた平成27年の2月ごろにその26年、国の26年度の補正と、それと27年度の予算でそれらを充てるという通知があつて、その時点でも平成27年度の国の予算においても復興にかかる事業を優先するということと、ころでという話がありました。ただ、その時点ではまだ国の認定を受けるとか、申請の許可されたとかというところは、それは一切関係ありません。あくまで国が需要を図るための計画申請ですので、実績にその時点で話があつたのは5月、その時点で通知があつたのは5月中旬には採択・不採択の結果が出ますという通知はいただいています。最終的には先ほど教育長の答弁ありましたように、4月末に不採択になったという通知を受けたということでございます。

1 1 番 大 館 聞けば聞くほど不思議な話になっちゃう。こんな重要なね、事業で、採択されるかされないかというようなものね、当初予算に計上してあるわけじゃないですか。それで、その時点で、本当にそういう、今、復興財源が不足している

からという、話は出ると思うんですよ、国も、県も。その可能性というのは薄いですよというふうな話になると思うんです。ね。当てにならないものを勝手にこっちで絶対つくだろうと思いついで計上したんですか、じゃあ、当初予算を。

教 育 課 長 そのつもりで計上させていただいています。今回はたまたまその26年度が全国的にその補助申請をする最終年度ということはわかっておりましたけれども、そこに財源がそこまで全部行く…及ぶということまでは私は想定しておりませんでした。今回の今言ったトイレ改修や空調設備工事というのは大規模改造事業になるわけですが、これらについては全国的に全て不採択ということは国から理由を聞いております。結果的にこういうことになったということでございます。

1 1 番 大 館 全国的に不採択。そうですか。

議 長 教育課長、そのとおりですか。大規模改造のほうは全国的に…。

1 1 番 大 館 それは調べればわかることだからね。それは信じましょう。でもね、やっぱり、もうずっと以前から計画を持ってて、26年度のうちにきちっとした、何ていうのかな、準備というか、そういうものがなされていれば、もう26年度中に採択される可能性もあったわけだな。27年度ではだめでしたけれども、26年度のうちにきちっと対応をしておけば、可能性としては、100%は行かなくてもね、なかった…あるわけ。可能性というのは大きいわけでしょうよ。ね。だから、いつもスピード感を持って事務処理をしてくださいますというような話が出ていたかと思いますが、そういう意味でおくれをとったのかなというふうに感じますが、国からもらうお金ですから、ね、各地方自治体がどうのこうのって言って、どんな頑張ってみても、だめというものは出ないでしょうから、仕方がないとしてもね、もう少しその辺で、じゃあどんな経過だったから不採択になったんだって、これからもいっぱい起こり得ると思いますよ。

でもね、一番不思議に思うのは、やっぱり教育、子育て、少子高齢化対策について国がね、本当に最大限の力を入れているんでしょうよ。この人口減少が激しいこの日本国をね、支えるのは子供でしょうね。その子供を教育する、そういう環境、教育だって一番大事な部門ですよ。それを削って復興財源に向け

る。確かに大変な災害でしたから、それこそ幾らあっても足りない状況かもしれませんが、やっぱりそれだけに傾注しちゃったらね、日本なんかこれから先、立ち行きませんか。先ほど小澤議員もね、人口対策に、増加対策についてもいろいろ提案されましたけども、それはね、自分の納得できない部分ね。これ以上課長にどうのこうの言っても話になりませんから。でも、これからの職員に、全ての職員に対してね、やっぱりそういうきちとした手続をすればもらえるというか、ね、採択されるものについては早め早めに、ね、これを教訓にですね、対応してもらわなければ、また同じことが起こり得ますよ。また、今、桜島も噴火しそうだ、箱根山も噴火しそうだってね。それでなくても東海地震等も騒がれているわけじゃないですか。いつ何時この地域にも大災害が発生するかわからない事態の中でね、やっぱり職員が真剣になってそういう取り組みをしていかなければ町が成り立たなくなるのかなというふうに感じていますので、これを教訓にですね、きちとした対応をしてほしいと思います。その辺で再度御回答いただきます。

町 長 ありがとうございます。まず、私ももうそろそろ2年ということで、ここにいていただいた方に大分予算の組み方についてもお話をいただいて、勉強したところから話をさせていただくと、まず、補助金というものの考え方についてお話をします。まず、補助金というのは町が何かをやるということについて、財源が不足するかな、足りないかなということに対してメニューがあることによって補助をもらう。私、今回の中学校のやつに関しましては、基本的に町の姿勢として、先ほどから大館議員がお話するように、町の子供たちの環境整備ということでまずやろうということが一番です。この予算を組むときに、最終的にこの補助金があるからやるのか、町の姿勢としてやるのか、町長どうしましょうというようなことがあって、町の姿勢としてやる。その補助金として教育のほうにどういったメニューがあるのかという話させていただいたところ、先ほど来話があるような補助金のメニューがありますということで、その前の年に対してはLEDの工事を中学校させていただきました。それはまさにこの補助金から使ったものです。じゃあ、ことしはそういう、学校に入らせていただいて、トイレがよくないという話だったものですから、じゃあ、来年はトイ

レをやろうと。この補助金が当たるのかという話になると、26年度の予算のこの幾つか項目がある中で、この項目が当たりますという話でございました。そして、その分で予算をやりますけど、結果的にこの補助金が当たらない、当たるといふ、町長そういう発想は置いといて、まず町がやるのかやらないのかから始めてくださいということから始まったものでございますので、補助金がもらえるからやる、もらえないならやらない、そういう姿勢では松田町ではないということだけ御理解をまずいただきたい。

それと、補助金の獲得の仕方についてでございますけれども、先ほど来話をしました。幾つかカテゴリーがあって、ちょうど私たちもお願いしようとするトイレの改修、もしくはエアコンの改修、その分のところすばっと線を引かれてしまったんですね。それで、結果的に全国的にでございます。近くで言うと南足柄市も同じことでございます。即座に、それなりのネットを通じて、文科省のほうに直接、担当の方来ていただいて要望書を出させていただきました。その結果、今回、ある国会議員の先生が委員会のところで直接安倍総理に対しまして、これから教育大国をつくっていくに当たって、今後の町…町というか、国民の子供たちを大切にすることであれば、今回の、こととして約98%の耐震工事が全て終わるといふことであれば、その財源を使ってまた来年度からは、今、私が話をしたような改修工事も予算をつけていただきたいという質問をしていただいたところ、前向きな回答が出たという話も聞いておりますので、松田町の職員がそういったもので怠っているというふうな御理解をいただける…というふうな話をされると、そうではないということだけお話をさせていただきます。以上です。

11番 大 舘 私はそういう意味で言った覚えはありません。今、町長が言ったね、補助金があるからやる、やらないの話じゃなくて、こんな小さな自治体はやっぱり全国どこでも子供たちは同じ教育の現場を与えてもらえるように、そういうシステムになっているわけじゃない。地方交付税も含めて。ね。だから当然補助金も頼りにした中で、全国一律の子供たちがサービス、教育サービスを受けられるような体制にするためにそういう制度になっているんですよ。だから、町がやるとかやらないとかじゃなくて、町は当然、町がやるのは当たり前ですよ。

町がそういう姿勢で、例えば補助金がつかなくてもやるのが当然ですけども、でも、そういうね、国がそういう制度を持っている以上は、それに頼って、ほかの投資的事業に回せるようなものに利用する、ある財源についてはね。極力もらえるものを、補助をしてもらえるものについては最大限の努力して、もらう努力は必要ですよ。そういう意味で言っているんですよ。町がやるとかやらないとか…町がやらなきゃしょうがないでしょうよ。ね。補助金があるからやらないんじゃないなくて、当然、くどいようですけど、子供たちが全国どこにいても同じレベルの教育サービスを受けるために、そういう制度になっているんですよ。ね。地方交付税も含めてですよ。だからそういう意味で言っているんです。だから、最大限の努力をしてくださって言っている。

町長 最大限の努力はさせていただいていると思います。ただ、11番議員さんの目で、見たり感じられているところで最大限の努力をされていないということであれば、それなりにお話をさせていただいて、改善すべきところは改善していきたいというふうに考えておりますけれども、町の予算でどうこうということではなく、町の予算がつかなくて、もう本当直ちにという状態ですけど、そういった格好で国の文科省のほうにダイレクトで話をして、国の問題って先ほどおっしゃいましたけども、松田町としては切実な問題です。1,200万つくつかないかという部分で考えますと。確かにおっしゃるように、ほかに使うこともできましたし、逆に財調にお金とっとくこともできました。それもわかりますけども、そういった格好で、我々が今までやっていたかどうかはちょっと正直わかりませんが、私になつてからはなるべくそういうふうにして、すぐお話ができるよう、国レベルの話として、全国的な話だったものですから、そういった要望をさせていただいて、現在動いているということだけ御承知いただきたいと思います。以上です。

11番 大 舘 何かね、私が職員が怠っているというような、そういうことじゃなくて、こういう例を含めて、もっと打つ手があるでしょうね、そういうものを探して頑張ってくださいよって言っているんです。今、町長が言われるようにね、私が職員を批判して何もやらなかったからもらえなかったんだというようなことで言っているんじゃないんですよ。それは誤解しないでください。ね。そういう

ふう聞き取れましたから。そんなこと一言も言った覚えもないし、それは思いません。ただ、職員の気持ちとして、何ていうのかな、最大限そういう、クリアできるような努力をしてくださいよと、そういうお願いをしているんだよ。

（「やっています」の声あり）やっていますだって、それはそうでしょう。やってないなんて言えないでしょう。でも…違うよ。やっていますはいいですよ。やってもらわねば困るんだ。でも、それ以上に、これでいいですよというレベルはないんです。ね。だから今、今、例を挙げて言っている。こういう事例が出たんで、なお一層の取り組みをしてくださいよって言っているんですよ。それやっていますと言うんじゃないでしょう。そうでしょう。確かにやられるんでしょう、今。やってないとは言ってません。私はあなた方は何にもやってないから頑張りなさいよとは言っていません。そうじゃなくて、こういう事例を踏まえて、なお一層の、何ていうのかな、取り組み方というか、アイデアを絞ってもらって、確保できるような体制に取り組んでくださいよって言っているんですよ。それわかるでしょう。そういうふう言ってるんです。じゃあ、その件は終わります。町長とやりとりじゃありませんのでね。

それとですね、このトイレについてはですね、以前説明の中では夏休み中に工事を終わらせたいというような話を聞いていましたけども、現実に終わっているんですか。もう夏休み終わろうとしていますけど。

教 育 課 長 その件でございます。補正でお認めをいただき、町費単独で行わなきゃいけないというところを考えますと、3,600万からする工事を少しでも安く上げるということも考えながら、1期工事、2期工事として分けさせていただきました。というのは、やはり子供たちを優先させるということで、ということで設計の見直しなどを行っている関係で少し時間をとられてしまい、工事については2学期工事で今進めているところでございます。今いる、在籍する生徒たちが気持ちよく卒業できるような形の中で、ことしじゅうには完成をさせるということで今進めているところでございます。

1 1 番 大 館 トイレ、鉄筋コンクリートづくりでね、それを、今あるものを取り外して再度つけ直すわけでしょう。再度って、ほかの、新しくするわけでしょう。当然、鉄筋コンクリートですから、相当の音が出ると思うのね。授業に支障が出るの

かどうかね。それでどんな工法でやられるのかはわかりませんが、やっぱり。それで、今、課長が答弁ありました、2期に、2つに分けてという話だと、やっぱり諸経費等についてね、倍かかるわけですよ。それ事業を2つ分けて、同じ業者がやるのであれば諸経費については共通でできるものかもしれませんが、もし2社でやるとしたらね、別々の経費がかかる。プラスアルファが出るわけですね。自前の予算でやるのであればね、少しでも経費を下げ、その工事費も下げてもらって、一銭でも安くつくってもらうのがベターなわけですよ。その辺でどうなんですか。

教 育 課 長 まず、音の問題ですけれども、やはり今後工事に入っていくということで、少なくとも大きな音が出る部分については土曜日、日曜日を使った中で、工事業者とは折衝していきたいというふうに思っております。2期工事に分けたというところは、国の先ほど言った補助金の要は動向、補助金申請の動向のお話のとおりですね、年を明けるとやはりまた今度28年度の前倒しというようなところでの話が来ようかと思っております。26年度で耐震補強工事の、要は年度が終了しますので、また新たな補助としてその部分がもし認められることあれば、申請はしておりますけれども、その2期工事を充てて補助金を受けていきたいというふうに思っております。ですので、1期工事がほぼ予算の中での大枠の中でほぼ財源的には使いますけれども、残った工事については少なくともそこに補助を充てていきたいというふうな考え方で今進めております。それと…一応そういうことで考えておりますので、よろしくお願ひします。

1 1 番 大 館 今、課長ね、来年度対応ができるかもしれないという話だけでも、もう既に着工しているものに対して国がそういうのを認めるんですか。

教 育 課 長 すいません、説明が不足して申しわけありません。そのために1期、2期を分けております。つまり、1期工事、当然補助金を受けるためには、着工した後に補助金を受けるということはできませんので、あくまで国の認定を受けた後に事業執行ということはもう原則でありますから、1期工事は、これは町費単独でやらさせていただく方向で考えております。ただ、2期工事については、先ほど申し上げましたように、できるだけ補助が充てられるような形で、新たな2期工事として考えておりますので、その辺は県とも調整済みになってござ

います。以上です。

11番 大 館 私は建築士じゃないんで、詳しいことはわかりませんが、その1期工事、2期工事をね、どのように分けるのかね。今、先ほどの答弁の中では、11月までには終わらせたいというような話。2期工事は何をやるんですか。

教 育 課 長 1期工事は子供の、要は生徒用のトイレを優先…優先といいますか、そこだけを今回1期工事として取り扱って、2期工事については職員トイレ、それとあとは給食室にあります…給食調理室にありますトイレ、これを2期工事として考えてございます。松田中学校は特別教室棟がありまして、そちらにもトイレありますけれども、そこは改修する予定はございませんので、あくまで本校舎のほうのトイレ改修、1階から3階までのトイレ改修を第1期工事として考えてございます。第2期工事は先ほど申したように、本校舎の1階にあります職員トイレ、男子、女子、それとあと給食調理室ということを2期工事として、別工事として考えてございますので、その辺は調整済みになってございます。以上です。

11番 大 館 予算上はね、全部を含めた予算組みしてあったんですね、たしかね。じゃあ、その予算も1期、2期に分けるんですか。

教 育 課 長 その予定でございます。これはあくまで執行上のことですので、そういう予算の範囲の中で。先ほど言いました共通管理費ですとか、一般管理経費がふえるというようなお話もございますけれども、あくまで予算の中で執行させていただきたいというふうに考えてございます。

11番 大 館 音の問題もね、土・日に限ってという話ですから、授業には直接は影響がなかりかと思えますけど。そういう日にちを…屋内ですから、雨や風は問題ないんですけども、業者にとってはね、その日しかできないというのは、すごい工程のロスというかね、すごいものがあると思うんですけども、そういう意味で割高になっちゃうんじゃないかなというふうに心配しているんですけども、その辺はどうなんですか。

教 育 課 長 重ねて申し上げますけど、予算の範囲内で執行させていただきたいと思えます。

11番 大 館 予算の範囲内って言われればそれまでですけども、財源が自主財源ですから、

極力抑える努力もしてもらわなきゃいけないわけだよな。だから、予算があるから多少ね、無理をしてでもという話じゃなくてね、効率的にやれば、例えば1,000万で終わるものが900万で完成しましたよという話になるわけじゃないですか。とにかく、松田町が財源が豊かでないんでね、職員の皆さんには一銭でも節約ができるような方向で臨んでももらわなきゃいけないのかなというふうに感じていますので、そういう努力はしてください。

それでは次に、タブレットの入札についてですね、入札の状況、指名競争とか自由競争とかあるんじゃないですか。それはどのようにやられたんですか。

教 育 課 長 タブレットの機器の導入に関しての入札については、指名競争入札で実施しております。

1 1 番 大 館 一緒に聞けばよかったけど、指名競争で、何社指名して、応札が何社あったんですか。

いや、いいですよ、時間がなくなるから。それは後で聞くから。そのぐらいなことは即答できるようにしといてくださいよ。町長、頑張ってますなんて言ったって、そんなことぐらいはさ、即答できるように言っってもらわなきゃ困ります。そういう意味で私は注意を喚起しているんです。

それとですね、先日松田小学校のタブレット授業に議員全員で視察に行きました。そのときに配られた資料ですけれども、NEC製のタブレットとですね、恵安製タブレットがありますよね。恵安のタブレットは9台…松小の場合は9台で、予備機として購入されているわけですけれども、松中は26台、寄中は13台という話ですけども。たしか恵安というのは中国製ですか。今ね、中国の人たちがメイド・イン・ジャパンを求めて日本へね、大量…大量というか、大多数の人が爆買いしているんじゃないですか、日本で。やっぱり自国の製品を信用してないんだよね。このタブレットの問題じゃなくて、もう全て、テレビなんか、報道なんかされると、電化製品から薬、食料品まで、全て。メイド・イン・ジャパンじゃなきゃ買わないって言ってるんですよ。なのに、日本で恵安というタブレットをですね、恵安製のタブレットを購入されたのか。また、NECとは仕様上については支障がないからこれを買われたと思いますけど、単価的にNECと恵安についてはどのくらいの差があるんですか。

教 育 課 長 まず、26年度に試験的に導入するというこで、松田小学校と寄小学校の1
クラスずつ、今言った恵安製を導入したということですが、その当時で
すね、金額の定価で比較すると恵安製が…金額言っているのかあれなんです
けど、4万ぐらい。NECの製品ですと、同じような機能を持った、性能を持
ったもので10万を超えるというようなものでした。当時入れることによって当然
財源的な部分もありますし、試験的に導入ということで、通信環境がしっかり
整っていれば、寄小学校の場合には数が少ないですし、松田小学校でどうなる
かなというところに一抹の不安はありましたけれども、試験導入でどういった
効果が得られるかというところをはかるためには、やはり財源的な部分も含め
て恵安製を選択させていただいたということで、入札に当たっては、製品指定
はしませんでした。製品指定はしませんでしたけれども、ある程度のスペック、
要は機能的なものはここまでは持たせてくださいという仕様書の中で入札をさ
せていただいて、結果的に恵安製の製品になったということでございます。

1 1 番 大 館 それではこの…ここに資料として載っているのは1台4万円ということ。
(私語あり) あ、下がっています。どのぐらいですか。もう、だって、入札済
んでいるわけだから、公表できるでしょう。

教 育 課 長 実質的な恵安製のそのタブレット端末については定価が4万円ということで、
実際に入札…落札したところでの単価としては2万7,800円という金額にたし
か記憶してございます。

1 1 番 大 館 私が直接調べたわけじゃないんで、聞いた話ですけど、恵安製というのは何
かちまたでは8,000円ぐらいで買えるという話を聞いています。それですぐに
壊れちゃうという。ね。これは通常…世間一般に出回っている情報として聞い
ているんですけども、その辺のことはどのように考えていますか。

教 育 課 長 試験的に導入した中で、やはり今御指摘がありましたように、機器の不具合
が発生しました。それはやはり通信環境といえますか、LANの、要は一斉に
データ送信するとやはりちょっと機械的に不具合が発生してとまってしま
うとかというようなところもありましたので、その辺は通信環境、要はLAN環
境をですね、もう少し高くするといえますか、通信速度を速くするといえ
ますか、そういったところの部分が高めることによって多少は緩和されまし
たけれども、

それでもやはり機器の不具合というのは確かに発生していました。要は、一斉にデータを送受信することによるところの不具合がかなり多かったものですから、個別に通信する部分にはそれほど、とまってしまったりとか、故障があるとかというようなことは聞いておりません。現に、今現在NEC製に全部変わって来ますけれども、恵安製品については中学校で先生方が授業用に今度使っていただくということ、慣れていただくということで、松田中学校、寄中学校のほうの先生方に今使っていただいております。これについては故障が発生したというのは聞いておりません。以上です。

11番 大 館 先ほども言ったけどね、市場では8,000円ぐらいで買えるのを2万7,000円という額で、業者としてはおいしいかもしれませんけども。町長ね、町長はタブレット…ICT教育については政策で訴えているわけだよね。それはもう、お金のかかるのは覚悟の上でそういう政策を打って出て、松田町の子供たちのね、グローバル化も含めて、そういう教育をするんだということ。だったらこんな、いつときの投資で済むんで、本来であれば日本製のね、優秀な機器で対応したって、だって、何台でもないわけだから、あえてこれをじゃなくて、分けて、そんなもの削ってみたってね、例えばこれからどういう故障があるかわかりませんよ。もうとにかく、悪いことと言えば、恵安なんてごみくずと同じだというような、極論をする人もいますよ。それで、ここにね、こういうネットのね、中で、教育現場を混乱させた中国製タブレット、製造元はだんまりというような、こういうのが流れているんですよ。ね。あえてそんなの、松田町の子供たちにね、使わせること、これは教員用の予備機として入れたんですか。教員用として。予備機だから教員も児童も関係ないんだよね。例えばね、授業中にそういうトラブル、この前も見学させてもらったとき、ちょこっとありましたよね。だからそれが大きなトラブルであればね、收拾つかなくなっちゃうわけじゃん。そのときの授業がもう本当に無駄になっちゃう可能性もなきにしもあらずです。だからその辺で、やっぱりかけるところにはきちっとかける、そういう姿勢でやられるほうが、やっぱり子供の教育のことですから、少しぐらいの額をね、削ってみても、じゃあ、本当に教育に力入れていますと言い切れないじゃないですか。ですから、そう私は感じますけども、どうでし

よう。

教 育 課 長 議員御指摘いただきまして、教育にお金をかけるべきだという、大変ありがたいと思っております。教育としては本当にぜひそうさせていただきたいと思えます。

あとですね、その恵安製の製品ですけれども、今、先ほど申しましたように、中学校の先生方に使っていただいています。個人で使う部分には特段問題ないんですけど、先ほど申しましたように、一斉に送信することによって通信環境が悪くなるといいますか、とまってしまうというのが恵安製でした。先日、7月に松田小学校のタブレット授業を見ていただいたときにも、1人の子が1台とまっていた状態があったと思います。そういうときのために予備を設けてですね、すぐにその機械ごと交換してしまうというふうなところでの支援員も入れていますし、そこでフォローできるような形。見ていただいてわかりますように、あのときの子供たちのタブレットについては一切故障もないし、通信環境もきちんとできていたと思われれます。今、現状そういう状態で動いておりますので、今後もさらに今度中学生のほうにも導入していかなければならないということで、ことしは松田中学校のほうに試験的に1クラス導入していますので、そういったところで、十分なお金をかけさせていただいて整備させていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

1 1 番 大 館 教育長のね、御丁寧な答弁をいただきましたので、もっと聞きたいこといっぱいあったんですけども、時間が2分しかありません。残念ですけども、この辺で終わります。

議 長 以上で受付番号第3号、大館秀孝君の一般質問を終わります。

これで一般質問は終了し、本日予定しました日程の全てが終了しましたので、本日の会議はこれにて散会いたします。明日は午前9時より本会議を開きますので、定刻までに御参集くださいますようお願いいたします。本日は大変御苦労さまでした。なお、昼食をとっていただき、午後1時より全員協議会を開催しますので、大会議室にお集まりください。 (12時00分)